



鯛萬の井戸

# 鯛萬の井戸の魅力をつなげるために

明石遥・井坂匠・伊藤歌那・佐藤雅・中澤怜加

## 鯛萬の井戸





## 鯛萬の井戸の魅力



水がきれい、美味しい  
雰囲気が良い



**日常的**に利用している地元住民

## 鯛萬の井戸の魅力



子どもたちがベンチで  
勉強していることもある



聞き取り調査中 (AM5:00-12:00)  
朝の散歩中に寄る人も複数いた





## 鯛萬の井戸の魅力

なんかいいな  
居心地が良いな



◀ 問 ▶

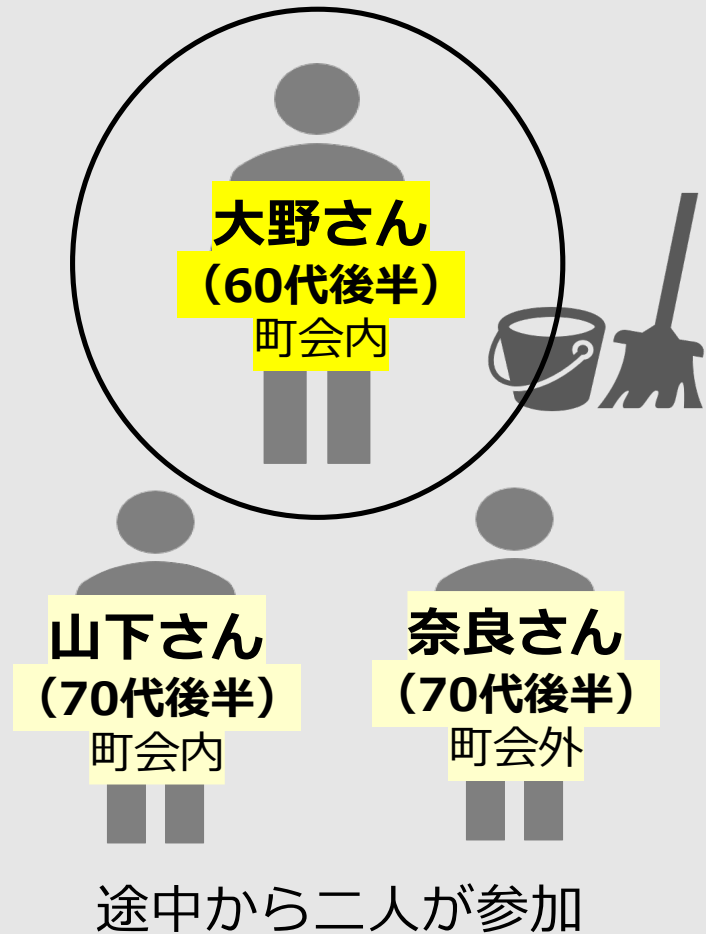
なぜ鯛萬の井戸は居心地が良いのか？





## 現在の管理形態

- 男性3人が週に1回（土曜日）朝4時半から行っている
- 大野さんが1人で掃除開始  
後に山下・奈良さんが感化され参加
- **有志**で行っている



## 掃除の様子

- 井戸水が出るところ、井戸のふち、水路の溝など、すみずみ、細かいところまで丁寧に掃除を行っている
- 場所によって使うブラシを変える等、磨き残しがないよう工夫している

〔聞き取りの際に見せていただいた掃除の様子〕



## 掃除の様子



[実際に使用しているブラシ（すべて自費）]





## 管理者の価値観

Q. なぜここまで丁寧な掃除を長く続けられているのですか？

利用者が怪我をしたら**自分の責任**  
**「井戸を守ることは人を守ること」**



撮影：藤牧徹也

すみずみまで丁寧に掃除がされていることで  
利用者は、安心して利用することができる



**居心地の良さ**につながっている

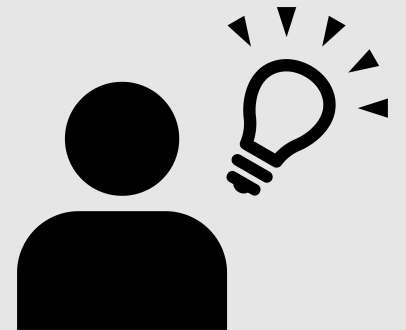
## « 答え »

鯛萬の井戸では、有志の3人が

**「井戸を守ることは人を守ること」**

**という独自の価値観**を持って、

利用者の安全のために掃除を行っているから



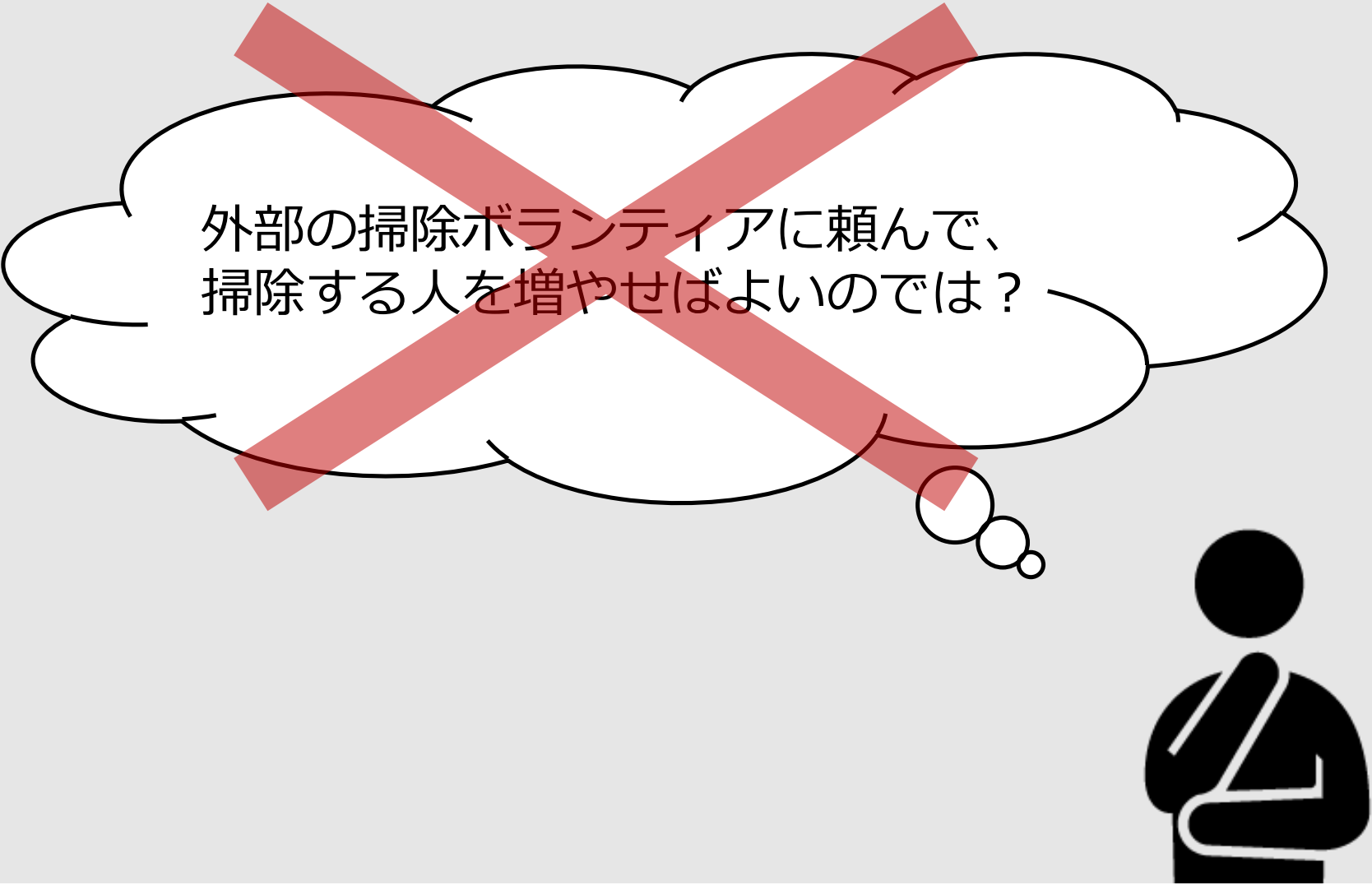


しかし、問題が・・・

- 当初は町会が持ち回りで掃除を行おうとしたが続き、**現在も3人のみ。**
- 3人の高齢化（6-70代）により、**将来的な存続が不安**（今後10年はまだ平気）



**新しい井戸管理の担い手を増やさなければならない**



外部の掃除ボランティアに頼んで、  
掃除する人を増やせばよいのでは？

**Q. なぜ外部ボランティアに頼んで人を増やすだけではダメなの？**

**A. 外部ボランティアは普段から井戸の近くにいることが難しく  
利用者が井戸を利用する様子を日常的に見ることができない！**

そのため、現管理者の価値観を完全に理解することが難しい！

**利用者のことが見える範囲の  
地域住民に管理を担ってほしい**





## 利用者の様子を 日常的に見ることができる

- 井戸の使い方が分かることでどこを掃除すればいいのか理解しやすい
- 「使う人が滑ったら危ない」という感覚を持つことができる



撮影：藤牧徹也

**まずは地域住民が管理者となるよう働きかける**

価値観を理解した管理者を増やすために…

**「井戸を守ることは  
人を守ること」**

理解・意識

人の安全にも配慮した  
丁寧な掃除をしよう！



地域住民

## 人々に価値観を広めるための2つの方法

### 共有



### 体感



## 政策提言

### 方法①

### 価値観の共有

現管理者の考えを共有する ※“凄さ”ではなく“価値観”

現管理者の価値観を共有し、同様の考えを根付かせることで、掃除への関心や日常的な井戸の利用、未来の管理者への意識づけを仕組んでいく。

価値観

井戸を守ること  
は人を守ること

共有



井戸への関心・利用  
価値観の理解

## 方法②

### 価値観の体感

#### 現管理者と一緒に掃除をする

現管理者と一緒に掃除を行うことで、価値観を肌で体感することができる。

「井戸を守ることは人を守ること」の意味をより深く理解することができる。

→ 価値観を体感することができる“場”を設けて頂きたい…



「井戸を守ることは人を守ること」って  
こういうことだったのか！



まとめ

特別な価値観

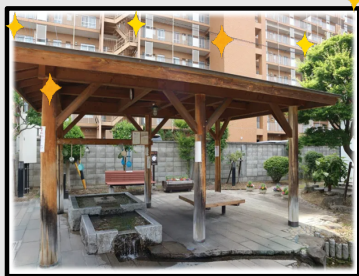
**井戸を守ることは  
人を守ること**



共有・体感

井戸への関心・利用  
価値観の理解

価値観を理解した  
担い手の増加



居心地の良さを持続させる管理形態

